

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

平成28年10月31日（月）3時間目

場 所 佐世小学校図書館

指導者 担任（司書教諭）学校司書

1. 単元名 佐世川の魅力を伝えよう

2. 単元の概要

(1) 単元のねらい

- 佐世川に関わる体験活動や調査活動を通して佐世川に興味をもち、調べたい課題を決めて、友だちと協同しながら主体的に解決することができる。
- ふるさとの自然のよさに気づき、調べたり考えたりして学んだことを、自分の生活と関連づけながら進んで実践していこうとする。

(2) 単元で育てたい力

【問題解決の力】

- ふるさとの川との関わりを通して生じた関心や疑問をもとに、課題を見つけ設定する。
- 体験活動や調査活動で得た情報や感想、収集した情報などを整理し、分かりやすくまとめる。

【自己表現力】

- 調べたり考えたりして学んだことを、自分の生活に結びつけて実践していこうとする。

【コミュニケーション能力】

- 課題解決に向けて友だちと協力して活動する。

(3) 単元で学ぶ内容

- ①佐世川や、その周辺の自然環境について知る。
- ②佐世川についての課題を設定し、課題別グループで追求する。
- ③調べたことをもとに、佐世川のよさを「佐世川魅力マップ」にまとめる。
- ④まとめたことを保護者や他の学年、地域に発信する。

(4) 本単元で身につけさせたい情報活用能力

- I 課題設定 思考ツールを使い、自分の課題を見つける。
- II 情報の収集 百科事典の使い方を知る。
情報カードの書き方を知り、集めた情報を、情報カードに書く。
- III 情報の整理・まとめ 情報カードによる取捨選択の仕方を知り、まとめに使う。

(5) 単元設定について

- ①児童について
(省略)

②教材について

校区を流れる佐世川にはナマズ、ドンコといった川の魚の他、サワガニ、ヤゴ、ホタル、カワナナといった水生生物もたくさん生息し、児童が川の学習を進めていく上で最適な学習環境の場になっている。また、「かわこ広場」という川遊びに適した場所も整備されており、夏にはいろいろな学年が川遊びを楽しむ場として利用している。

しかし、児童にとって、かわこ広場というスポットは学習や生活の中で親しんでいる場所になっているが、佐世川として大きくとらえた場合、自分たちの日常生活と川とを意識したり関わったりすることはそれほど多いとは言えない。

本単元は、社会科「住みよいくらしをつくる～水はどこから」の単元と関連づけて学習を進めたり、島根県環境政策課が主催する「みんなで調べる宍道湖流入河川調査活動」に参加したりすることで、自分たちの身近にある佐世川や赤川、斐伊川といったふるさとの川について関心を高め、自然環境を大切にしようとする態度を育てるのにふさわしい単元である。本単元では、佐世川から斐伊川までの探検や観察、調査等を行い、川に生息する生き物や川の役割などへ関心を持たせ、課題を設定する。そして課題の探求活動を通して、佐世川のよさや魅力、川の重要性について改めて気づかせ、ふるさとの川を大切にしていこうとする態度を育て、自分たちの生活の中で学んだことや考えたことを実践につなげていくことをねらいとしている。

③指導について

第1次「佐世川を知ろう」の導入では、まず佐世川のことで知っていることを話し合う。佐世川は校区を流れる身近な川であり、かわこ広場は学習や遊びの場になることも多い。児童にとっては川遊びの楽しい場という意識はあるが、佐世川について知っている事実は少ないであろう。「身近なふるさとの川をもっと知ってみたいな。」「調べてみたいな。」という気持ちをきっかけとして、学習を進めていきたい。第1次では、川遊びや生き物調べ、水質調査、源流探検等でしっかりと川に親しませる体験を積ませることで、いろいろな気づきや発見、疑問をもつことにつなげていきたい。

第2次「課題を設定しよう」では、第1次の体験や調査、観察等をもとに自分の興味、関心をもった調べたいことを課題として設定する。本時はウェブ図を手がかりとして課題を絞り込んでいく時間である。ウェブ図を広げる際、様々な視点から川をとらえて言葉を考える必要がある。しかし、児童が持っている知識だけでは十分とはいえないため、ウェブ図が広がっていかない児童もいると予想される。そこで知識や視点を広げるために、学校司書によるブックトークを事前に行ったり、図書資料の目次を活用したりすることを手立てとしたい。ウェブ図から課題を絞り込んだ後は、課題が似ている友だち同士でグループになり、調べるための具体的な課題をさらに設定する。その際はKJ法を用いて設定していく。グループの同じ児童が、思いを共有しながら調べるための適切な課題を設定していくようにしたい。

第3次「課題を調べよう」では、情報カードを使った調べ学習は初めてであるため、情報カードの書き方や使い方についてまず指導する。また、百科事典を使って情報を収集することも必要になってくると予想されるため、百科事典の使い方についても、学校司書と連携しながら指導にあたりたい。また情報を収集する際には、図書資料だけではなく、体験したことや見学、観察したことから情報を得るようにさせたい。

第4次「まとめたことを発表しよう」では、調べたことを「佐世川魅力マップ」としてまとめ、保護者に学んだことを発信する。また、学んだことをもとにしなが、4年生の児童なりに自分たちにできることを考え、実践していくことができるようにしていきたい。

3. 単元の評価規準

問題解決の力	自己表現力	コミュニケーション能力
<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動や見学、調査を通して、課題を見つけ設定している。 ○課題解決に向け、必要な情報を集めて整理し、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとの川や自然のすばらしさに気づいている。 ○身の回りに関心を持ち、自分にできることを考え、実践していこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと話し合い、協力して活動している。

4. 指導と評価の計画（全26時間、本時14／26）

次	学習活動	評価計画 ・評価規準 【評価方法】	学校図書館の活用	他教科との関連
一 佐世川を知ろう (二二時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○佐世川について知っていること、思っていることを話し合おう。 ○佐世川（かわこ）に行こう。 <ul style="list-style-type: none"> ・川の水質調査のやり方を教えてもらおう。 ・水質調査をする。 ・川の生き物を探す。 ○佐世川探検に出かけよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・源流から斐伊川合流地点まで見学する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを意欲的に発言している。 <p>【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の観察や調査に興味を持って、意欲的に取り組んでいる。 <p>【ワークシート・観察】</p>		社会 水はどこから 理科 天気と 気温
二 課題を設定しよう (三三時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・佐世川魅力マップ（流域マップ）にまとめることを確認する。 ・川について調べるときに使う本のブックトークを聞く。 ○課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ図を使って、調べのキーワードを見つける。（本時2／3） ・課題別グループを編成し、調べ学習の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み語りや、ブックトークに興味、関心をもって聞いている。 <p>【トークメモ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや調べたいことを出し合い、課題を設定している。 <p>【ワークシート・観察】</p>	並行読書 ○選書、ブックトーク 学校司 ○思考ツールを使った課題設定	

<p>三課題を調べよう (五時間)</p>	<p>○課題別グループで、調べ学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードの書き方、使い方を知る。 ・百科事典の使い方を知る。 ・設定した課題について、図書資料や観察や調査、見学したことなどから必要な情報を集め、情報カードにまとめる。 <p>○集めた情報を整理し、まとめに使う情報を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、適切な情報を収集し、グループの友だちと協力しながら課題解決を図ろうとしている。 <p style="text-align: center;">【情報カード】</p>	<p>○情報カードの書き方、使い方</p> <p>○百科事典の使い方</p>	<p>国語 みんなで新聞を作ろう</p>
<p>四まとめたことを発表しよう (六時間)</p>	<p>○佐世川魅力マップにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べたことをまとめる。 <p>○発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の準備、練習をする。 ・発表会を行う。 <p>○これからの佐世川について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を工夫しながら分かりやすくまとめている。 <p style="text-align: center;">【まとめシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心を持って発表を聞いたり、内容が的確に伝わるように話したりしている。 <p style="text-align: center;">【自己評価表・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の大切さに気づき、何ができそうか意欲的に話し合っている。 <p style="text-align: center;">【発言・振り返りシート】</p>		<p>国語 クラスで話し合おう</p>

5. 本時の活動

(1) ねらい

○共通テーマ「佐世川」をもとにイメージや知識を広げ、自分なりの佐世川の魅力を伝えるための課題（テーマ）を絞っていくことができる。

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教師の支援（☆）と評価（◎）
0	1. 本時のめあてと学習内容を確認する。	☆前時までの学習活動を想起させ、本時の学習の位置づけを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分が調べていきたいこと（テーマ）を見つけよう。 </div>	
7	2. 共通テーマ「佐世川」をもとに、ウェブ図を広げる。 〈書くと予想されるキーワード〉 生き物、上流、源流、かわこ、川遊び、斐伊川、魚、水質、赤川、宍道湖…	☆ウェブ図を使った興味関心、知識の広げ方の方法を説明する。 ☆ウェビング的手法で、「佐世川」から思いつくことや知っていること、事実、体験、感想など自由な発想で書き込ませる。
25	3. グループ内でウェブ図を見せ合って交流する。 友だちのウェブ図の「いいね」を見つけよう。	☆書きにくい児童には、探検や調査などで興味を持ったことを書いたり、本の目次を参照したりするとよいことを助言する。
35	・わたしと同じところがあるね。 ・○○さんの書いていることは、思いつかなかったな。 ・この言葉は自分のにも書き入れたいな。	☆互いの考えを聞き合い、佐世川への考え方の視点を広げることができるようにする。また、友だちの書いた言葉に興味を持ったなら、自分の図に書き加えてもよいことにする。
40	4. 自分が調べていきたいこと（テーマ）を絞る。 ・「佐世川の魅力を伝える」という視点をもって、自分が興味を持ったキーワードや調べてみたいところを大きく丸で囲み、選んだ理由を記入する。 5. 本時の振り返りをする。 ・本時を振り返り、次時の学習についての見通しを持つ。	◎ウェブ図を使って、自分が調べていきたい課題（テーマ）を絞り込んでいる。 ☆感想を書いて交流し、次時へつなぐようにする。

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的な支援
いろいろな視点をもって共通テーマから意欲的に言葉を広げていき、明確な理由を持って自分が魅力として伝えたいテーマを絞り込んでいる。	自分の興味、関心に沿って共通テーマの言葉を広げ、自分が魅力として伝えたいテーマを絞り込んでいる。	学習ファイルを利用し、今までの学習を想起したり、図書資料の目次を活用したりして、イメージを広げてから言葉を書くように助言する。 言葉がたくさん広がっていったところからテーマを考えるように助言する。

(4) 研究の視点

- 思考ツール（ウェブ図）を使ってイメージや知識を広げてから課題（テーマ）を絞ったことは、自分の調べたい課題（テーマ）を設定する手法として有効であったか。（ア：課題設定の工夫）
- グループの友だちと交流する場を設定したことは、自分の考えを広げたり深めたりすることに効果的であったか。（キ：学習形態の工夫）